

日本海テレビジョン放送

活動名	アクション！みんなのミライ 出張アナウンサー読み聞かせ
実施期間	令和 6 年 6 月～令和 6 年 12 月
実施回数	会場 12 回

【事業実施の成果・課題】

「読み聞かせ」事業はアナウンサーや事業担当者が学校や幼稚園・保育園に出向き、子どもたちと触れ合うことが出来る貴重な機会となっています。ただ単に絵本を読むだけではなく、合間に絵本の内容をフィードバックするようにして、この絵本が何を伝えたいのか？児童たちと一緒に考える機会を設けるようにしています。また、読み聞かせの合間に行う「アナウンサーによる発声講座」も好評で、「音の高低」「大小」「鼻濁音」など専門的な発声方法を学ぶ機会も設けることで、退屈せずに授業を聞いてもらえるよう構成を工夫しています。今後なるべく多くの学校に出向いて「絵本の魅力」や「伝える」ことの大切さを感じてもらえるよう取り組んでいきたいです。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<中尾真亜理アナウンサー（入社 10 年目）>

普段、わたしたちアナウンサーは、カメラの向こう側にいる視聴者の反応や表情を知ることはできません。そんな中、この絵本の読み聞かせは「同じ空間」「同じ時間」「同じ空気」を共有できる、非常に稀有な事業のひとつです。絵本が伝えたいことや日本語の美しさ、絵と文章が訴える情景など、絵本の魅力を伝えるのはとてもやりがいがあり、読み手のこちらも学びが多く、絵本を通してインタラクティブ・コミュニケーションを実現できることをとても嬉しく思っています。

<岩本泰平アナウンサー（入社 5 年目）>

絵本の読み聞かせ事業は子どもたちの反応に触れられる貴重な体験です。さっきまで賑やかだったみんなが、私が絵本を読み始めると目を輝かせて、絵本に夢中になる姿を見ると、心が温かくなり、やりがいも感じます。喋りのプロとしてのスキルを活かせる場でもあり、声の出し方、抑揚、リズムを工夫することで絵本の世界をより一層楽しんでもらえます。この事業を通して、子どもたちの興味を引き出し、好奇心を持ってもらいいろいろなことにチャレンジする原動力になってくれれば嬉しいです。

<村尾莉采アナウンサー（入社 1 年目）>

初めての読み聞かせでとても緊張しましたが、江津市立津宮小学校の教職員・生徒の皆さまが温かく迎えてくださり楽しむことが出来ました。子どもたちが飽きることなく、絵本の世界に入ってもらえるように、登場するキャラクターによってスピードやトーンを変えたりと、表現の幅を広げられるよう努めました。その後は学習発表会に向けて発声講座を行い、子どもたちに実際に声を出してもらいました。子どもたちの元気いっばいな反応と、「楽しかった」という声が聞くことができ、やりがいを感じたと同時に、教える立場でありながらも改めて意識して声を出す大切さを子どもたちから教わりました。

<事業担当者 小谷憲司>

毎回、児童たちがどんな反応をしてくれるかなとワクワクする気持ちでこの事業に臨んでいます。今年度は夏休み中に自動車販売会社のショールームで読み聞かせを行って欲しいという依頼や、初めて応募していただいた学校や園も多く事業の広がりを実感しています。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

<先生の感想>

- ・アナウンサーによる出張講座、とてもわかりやすかったです。何をどうすればいいのか、具体的に話していただいて良かったです。
- ・迫力があってびっくりしました。本物を見せてもらえるのは、子どもたちにとっても有意義な学習になりました。

<子どもの感想>

- ・良い声を出すにはお腹に力を入れて出すといいことが分かりました。
- ・声の大きさや速さで伝わり方が違うんだとびっくりしました。私も読み聞かせをやってみたいと思いました。
- ・アナウンサーさんの話を聞いて、私もアナウンサーになりたいと思いました。